

平成29年度

平成29年10月 1日 第7号



与野八幡小だより

学校教育目標

- ・自ら学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

「夢と希望と感動をはぐくみ、子どもが輝く学校」 児童数736名

web アドレス <http://yonohachiman-e.saitama-city.ed.jp>

E-mail yonohachiman-e@saitama-city.ed.jp

TEL 048-854-5561 FAX 048-854-5560 所在地 〒338-0003 中央区本町東5丁目23番14号

考える道徳 議論する道徳へ

校長 金 銅 孝

今年度も後半に入りました。正門近くの「ひまわりのおか」では、この夏の日照不足や台風の影響による強風に負けず、たくさんのひまわりが花を咲かせてくれています。一方、キンモクセイの香りが漂い始め、次第に秋の気配が深まっていくことを感じます。

先月行いました学校公開には、多くの保護者の皆様や地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。また、PTA役員の皆様には、受付等で大変お世話になりました。

今回の授業参観の出席率は90%と例年同様に高い結果となりました。夏休みに子どもたちががんばって取り組んだ自由研究をはじめ、いろいろな作品を見ていただけることも、この時期に実施することのよさと感じました。また、お孫さんの様子を参観されることを楽しみに来校されている方もいらっしゃいました。ありがとうございました。

10月28日(土)には、校内音楽会の公開もごさいます。体育館内の限られたスペースですが、こちらも多くの皆様のご来校をお待ちしております。

さて、学校公開の授業では、担任とALTによるG・S(グローバル・スタディ)や、埼玉県警から講師を招いての「携帯・インターネット安全教室」などの授業とともに、ほぼ全学級で『道徳の授業』を実施しました。

本校では今年度、二つの理由から「児童が主体的に取り組む、道徳の授業実践」の研究に取り組んでいます。

一つ目は、進んで自分の考えをもち、それを伝えることができる子を育てたいという理由です。本校の児童は、真面目に落ち着いて学習に取り組むことができます。しかし、授業中の発言には、恥ずかしさや自信のなさが見られる面があります。そこで、決まった答えを求めない道徳の授業の中で、主体的に話し合いに参加し、自分の考えを伝えられるようにしたいと考えています。

二つ目は、道徳が、小学校は来年度から、「特別の教科 道徳(道徳科)」としてスタートするという理由です。これからの急速で予測しにくい社会状況の変化に対応する力を育成するために、道徳教育は、大きな役割を果たす必要があると言われていています。そのための指導法の工夫、改善を図っていきたいと考えています。

9月29日には、指導者を招いて、第1回目の高学年の校内授業研究会を行いました。これまでの、主人公の気持ちを考えようという「読み物道徳」だけにとどまらず、体験的学習や問題解決的な学習を一層取り入れ、子どもたちが、主体的に学び、自分の考えをもち、伝えたいという思いを高め、「考え、議論する道徳」の実施を目指してまいります。